

所属	人間社会学部・人間形成学科	職名	教授	氏名	小松 啓子
----	---------------	----	----	----	-------

## 1. 主な研究分野

1976年日本女子大学大学院家政学研究科修士課程修了（家政学修士）。1979年徳島大学大学院栄養学研究科博士課程単位取得満期退学（1980年保健学博士、徳島大学 甲栄16号、栄養学専攻）。1979年徳島大学医学部栄養学科・特殊栄養学教室（助手）勤務、1983年から産業医科大学小児科学教室訪問研究員として在籍、小児科外来・病棟での栄養指導を担当しながら研究活動を展開（2007年迄）。1987年福岡県立社会保育短期大学に着任（助教授）、1992年福岡県立大学移行後、人間形成学科教授として現在に至る。2007年看護学部看護学研究科開設と同時に看護学研究科教授として食育学特論・演習を担当し、人間社会学部学生の教育と併せ、社会人の専門教育に貢献。

栄養学に関する研究活動を始めて約35年になるが、研究の柱として生命誕生から死にいたる人生を食の視点から捉え続けることを重視し、研究活動を展開してきた。現在は研究の取組みを、共同と個人研究の二つの柱で下記のテーマで実施しているが、二つの柱は夫々が独立したものではなく、食の視点を重視した「人の健康のあり方」を問う学問研究として位置づけている。

### (1) 共同研究（小松啓子他13名で構成）

「赤村住民のメタボリックシンドローム予防対策に関する総合的研究」

赤村全住民を対象に、健康と生活に関する基礎調査をもとに、ライフサイクルにおける食育上の課題について研究を進めている。また、本研究を、本大学が将来担うコホート研究に位置づけるための基盤づくりも進めている。

### (2) 個人研究

小児を対象に下記の2件を中心に研究活動を展開している。

「幼児の健全な食行動の形成に対して連続的な菜園活動体験を取り入れた食教育のあり方」「思春期に表出する小児の自己体型に対する認知のずれに関する研究」

## 2. 研究業績

### ① 著書・論文

< 著書 >

- ・小松啓子「特集 栄養カウンセリング入門」、『食育』第72巻第7号、健学社、2007年3月。
- ・小松啓子「幼児の偏食改善に向けた連続的な食生活体験—ちびっ子農園活動が育む食行動の自立—」、子育て問題を考える福岡会議編『子育て問題を考える』、日本小児医事出版社、2007年9月。
- ・小松啓子「第1章 子どもの健康な生活と食生活の意義、第2章子どもの発育・発達と食べる行動、第6章 幼児期の食生活」、小松啓子編著『プリマーズ 小児栄養』、ミネルヴァ書房、2007年12月。
- ・小松啓子「2.1 栄養カウンセリングの基本、2.2 食行動理論の活用、2.3 心理アセスメントの基本、5.2 乳児期・離乳期の栄養アセスメントと栄養管理」、山本茂編『管理栄養士技術ガイド』文光堂、2008年4月。
- ・小松啓子「1. 栄養教育におけるカウンセリングの位置づけ、2. 栄養教育に必要な栄養カウンセリングスキル、6・1食行動に影響を及ぼす要因、9. 栄養カウンセリングのための実習プログラム」、小松啓子編者『栄養科学シリーズ 栄養カウンセリング論 第2版』、講談社サイエンティフィック、2009年3月。
- ・小松啓子「3. 栄養教育の基礎技術：栄養教育を効果的に行えるようにしよう」、片井加奈子等編『栄養教育論実習書』、講談社サイエンティフィック、2010年3月。

<論文>

- ・小松啓子、岡村真理子「小児のメタボリックシンドローム・肥満症における食生活と食事療法」、『Adiposcience』第4巻4号、フィジカル出版、2007年12月。
- ・岡村真理子、小松啓子「メディア暴露時間の長短が、女子生徒の学習・食生活・健康に与える影響」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第16巻2号、2008年3月。
- ・Takeshi UEDA, Kazunari ISHIHARA, Mariko OKAMURA, Keiko KOMATSU, 「The Effect of Childrens Sports Activities on Life Habits:Sports Activities of Children in the Chikuhō Region and Related Factors」  
『福岡県立大学人間社会学部紀要』第17巻1号、2008年7月。
- ・小松啓子「メタボリックシンドロームの予防と治療ー現代の日本小児の食生活ー」  
『小児科臨床ピクシス6』五十嵐隆総編者、大関武彦専門編者、中山書店、2009年3月。

②その他最近の業績

<調査研究報告書>

- ・小松啓子、岡村真理子「幼稚園における食育活動実態調査」2008年3月。
- ・小松啓子、上田毅、石川フカエ、岡村真理子、小嶋秀幹、中野榮子、夏原和美、安酸史子、吉岡和子「赤村住民のメタボリックシンドローム予防対策に関する総合的研究ー住民の健康と生活に関する基本調査」『福岡県立大学生涯福祉研九センター研九報告叢書』第38号、2008年3月。
- ・小松啓子監修『平成19年度食育及び中学校給食に関する調査結果報告書』北九州市食育推進会議、2008年7月・小松啓子監修『食育及び中学校給食に関する報告書【概要版】』北九州食育推進会議、2008年7月。
- ・小松啓子、岡村真理子「福岡県の幼稚園における食育活動実態調査」2008年4月。
- ・小松啓子、岡村真理子「保育所（園）における食育活動実態調査」2009年3月。
- ・小松啓子、石川フカエ、上田毅、尾形由紀子、岡村真理子、北川明、清田勝彦、小嶋秀幹、中野榮子、夏原和美、安酸史子、山下清香、吉岡和子、渡邊智子「赤村住民のメタボリックシンドローム予防対策に関する総合的研究ー住民（16歳から40歳）の健康と生活に関する基本調査」『福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター研究報告叢書』第43号、2009年3月。
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村住民のメタボリックシンドローム予防対策に関する総合的研究ー小児のメタボリックシンドローム改善に向けた幼児の食生活実態調査」『福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター研究報告叢書』第44号、2009年3月。

<インタビュー>

- ・小松啓子「特集 栄養カウンセリングを食育に生かそう」『食育』第72巻第7号、健学社、2007年3月。

<連載>

- ・小松啓子「子どもの食ー女子中学生にみられる健康面の課題とやせ願望」『心とからだの健康』第10巻107号、健学社、2007年1月。
- ・小松啓子「子どもの食ーお菓子の選択方法に要注意」『心とからだの健康』第10巻108号、健学社、2007年2月。
- ・小松啓子「子どもの食ー体調の不調を訴える女子中学生には栄養評価を」『心とからだの健康』第10巻109号、健学社、2007年3月。
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第1回 40歳代の朝ごはんを食べない人の食習慣について」『広報あか』2009年2月。
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第2回 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の認知度について」『広報あか』2009年3月。
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第3回 朝食を食べない人が多くみられた40

歳代の健診受診について」『広報あか』2009年4月.

- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第4回 調査日の朝食バランスについて」、『広報あか』2009年5月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第5回 体を動かす習慣について」『広報あか』2009年6月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第6回 睡眠について」『広報あか』2009年7月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第7回 40代の方々の健康につながる8つの食習慣について」『広報あか』2009年8月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第8回 40代の方々の体調について」『広報あか』、2009年9月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第9回 朝食のメニューについて」『広報あか』2009年10月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第10回 体型について」『広報あか』2009年11月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第11回 腹囲について」『広報あか』2009年12月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第12回 BMIと食習慣の関係について」『広報あか』2010年1月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第13回 夜食について」『広報あか』2010年2月.
- ・小松啓子、岡村真理子「赤村健康調査報告第14回 毎食野菜を食べましょう」『広報あか』2010年3月.

#### <その他の掲載>

- ・北九州市食育あり方検討会委員長 小松啓子『北九州市食育あり方検討会報告書』北九州市保健福祉局、2006年8月
- ・小松啓子「産業カウンセラーの目 第11回キャリアサポートセンターにおける産業カウンセラー」『らいふ』第5巻第12号、社団法人全国労働基準関係団体連合会、2006年12月.
- ・小松啓子「早起きすることはもともと、体にとって、ごく自然なことなのです」『クリム』、2008年3月、生活協同組合連合会コープ九州事業連合
- ・小松啓子「朝ごはんを食べる、ということ」『クリム』生活協同組合連合会コープ九州事業連合、2008年3月.

#### <シンポジスト>

- ・「生活リズムの中の食の役割について」 子どもの生活リズム向上全国フォーラムin福岡県、2007年1月13日（於：北九州市）.
- ・「子どもの食について」 子どもの生活習慣を考えるーみんなで築く生活リズムー、2007年10月17日（於：福岡市）.
- ・「小児期の食生活の課題とメタボリックシンドローム予防」第28回日本肥満学会、2007年10月（於：東京、海運クラブ）.
- ・「女性の働く・キャリア形成の支援」分科会、キャリア・コンサルタント全国大会、2008年11月2日（於：東京、国学院大学）.
- ・「専門家としてのキャリア・コンサルタント～キャリア・コンサルタントの専門性とは」キャリア・コンサルタント福岡大会、2008年8月3日（於：福岡市）.
- ・「食育とケアリング」第28回看護科学学会学術集会、2008年12月14日（於：福岡市）.
- ・「農産物を育てて、食べて、みんなで楽しい食育」平成21年度田川地域食育推進大会、2010年1月17日（於：赤村）

#### <特別講演>

- ・「偏食を予防する離乳食の進め方～赤ちゃんとお母さんの笑顔を育む～」健康・育児・生活支援、産学連携による新生活産業創出シーズ発表会、2009年7月27日（於：福岡市）
- ・「子どもたちの健康と食育」大分県健康・教育研修会、2009年8月25日（於：大分市）
- ・「食育活動における栄養カウンセリング」島根県立大学リカレント教育、2009年10月10日（於：島根）
- ・「家庭科教育における生きる力や学力向上につながる食育の視点」家庭科教育筑後地区研究大会2009年10月14日（於：久留米）
- ・「子どもの生きる力を培う食育の大切さ～過去60年間の食生活の歩みから～」北九州小児歯科研修会、2009年11月7日（於：北九州市）
- ・「食と健康を学ぼう～早やね・早起き・おいしい朝ごはん～」北九州医師会講座、2009年12月7日（於：北九州市）
- ・「子どもの健康を目指す食育の視点」大分県学校保健研究大会、2009年12月10日（於：大分）
- ・「学校での子どもたちの生きる力や学力向上につながる食育の視点」佐賀県学校栄養士会、2010年1月25日（於：佐賀市）
- ・「特定保健指導における栄養カウンセリングの効果」兵庫県栄養士会生涯学習、2010年2月20日（於：神戸市）
- ・「田川市のこどもたちの食育上の課題とこれから～過去23年間の歩みからみえてきた子どもたちへのかかわり～」田川市立学校評議員連絡会議研修会、2010年3月5日（於：田川市）
- ・「栄養カウンセリング」熊本市行政栄養士研修会、2010年3月11日（於：田川市）
- ・「味覚やそしゃく機能の発達を大切に食育の実践」福岡県私立幼稚園振興協会・北九州市私立幼稚園連盟研究大会、2010年3月27日（於：北九州市）

#### <コーディネーター>

- ・第49回国産栄養教諭・学校栄養職員研究大会、第4分科会「肥満・痩身傾向のある児童生徒への指導」2008年8月1日（於：久留米市）。
- ・九州保育研究会食育分科会「いま、食育を考える」2008年11月9日（於：北九州市）。
- ・「食べよう、伝えよう田川の食文化」平成20年度田川地域食育推進大会シンポジウム、2008年11月15日（於：大任町）。

#### <学会報告>

- ・岡村真理子、小松啓子「幼稚園における食育活動の取り組み」第1回日本食育学会総会・学術大会（和洋女子大学）2007年5月。
- ・岡村真理子、小松啓子「幼児にみられる疲労症状と食生活、生活リズムとの関連性について」第54回日本栄養改善学会（長崎ブリックホール）2007年9月。
- ・岡村真理子、小松啓子「食育推進活動における幼稚園での菜園活動の取り組み」第2回日本食育学会総会・学術大会（東京農業大学）2008年5月。
- ・岡村真理子、小松啓子「メディア暴露時間の長短が、女子生徒の食生活や健康に与える影響について」第55回日本栄養改善学会（鎌倉芸術館・鎌倉女子大学）2008年9月。
- ・岡村真理子、小松啓子「家庭における幼児に対する食育の取り組み－保護者の食意識が幼児の健全な食行動形成に及ぼす影響－」第56回日本栄養改善学会（札幌市コンベンションセンター）2009年9月。

### 3. 外部研究資金

- ・独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）、「幼児の健全な食行動の形成に対して連続的な食生活体験を取り入れた食教育のあり方」、130万円（平成20年度）、平成18年度～平成20年度、共同研究。
- ・シダックス研究機構委託研究、「連続的な菜園活動体験と保護者の食意識が幼児の健全

な食行動形成に及ぼす影響」 499,999円（平成20～21年度）

## 5. 所属学会

（社）日本産業カウンセラー協会（理事）、日本肥満学会（評議委員）、日本栄養改善学会（評議委員）、日本食育学会（編集委員）、日本小児科学会、日本小児保健学会、日本ビタミン学会、日本家政学会、産業カウンセリング学会、日本栄養・食糧学会、日本臨床栄養学会 各会員

## 6. 担当授業科目

<学部>

人間社会学部：栄養学Ⅰ・2単位・2年・前期、栄養学Ⅱ・2単位・2年・後期、栄養学実習・1単位・3年・前期、小児栄養・2単位・3年・通年、栄養学演習・2単位・3・4年・後期～前期、卒業論文・6単位・4年・後期、保育内容・健康Ⅰ・1単位・3年・前期、保育内容・健康Ⅱ・1単位・3年・後期、発育論・2単位・1年・前期、

看護学部：栄養学・2単位・1年・後期

<大学院>

看護学研究科：食育学特論・2単位・1年・前期、食育学演習・2単位・1年・後期、ヘルスプロモーション看護学特別研究・8単・2年・通年、

人間社会学研究科：地域教育支援研究Ⅱ（食育）・2単位・1・2年・前期、地域教育支援演習Ⅱ（食育）・2単位・1・2年・後期

## 7. 社会貢献活動

- ・田川市食育検討委員会 委員長
- ・北九州市食育推進会議 座長
- ・田川市男女共同参画審議会 委員長
- ・田川市0歳教室運営委員会 委員
- ・平成19年度若年者地域連携事業に関する企画審査委員会 委員長
- ・平成19年度インターンシップ受入企業開拓事業に係る企画審査委員会 委員長
- ・福岡県地方労働審議会 委員
- ・青少年アンビシャス運動筑豊地域推進委員

## 8. 講演

- ・小松啓子「子どものたちの食生活について」赤村学校・家庭支援事業『家庭教育講座』、2009年6月23日（於：赤村）
- ・小松啓子、岡村真理子「赤ちゃんが喜ぶ離乳食の作り方」北九州市食育のための協力栄養士養成研修会、2009年8月21日（於：北九州市）
- ・小松啓子、岡村真理子「5年生の食生活の実態」赤村学校・家庭支援事業「家庭教育講座」、2009年8月25日（於：赤村）
- ・小松啓子「地域における食育推進活動の意義について」福岡県立大学公開講座、2009年10月31日（於：田川市）
- ・小松啓子、岡村真理子「おいしい離乳食とのであいい味覚や咀嚼機能の発達と心の育ちを大切にー」田川市平成21年度0歳期教育親子教室、2009年9月29日（於：田川市）
- ・岡村真理子、小松啓子「赤小学校5年生の食生活調査報告」赤小学校保護者会、2010年1月29日（於：赤村）
- ・小松啓子、岡村真理子「田川市の子どもたちの健康を目指した縦断的研究～2000年から2008年～」田川市学校教育食育推進委員会、2010年2月22日（於：田川市）
- ・小松啓子、岡村真理子「家族で取り組む赤村の食生活」赤村学校・家庭支援事業『家庭教育講座』、2010年3月25日（於：赤村）